

建設現場にしなやかさと気遣いを 立花建設編

練馬区向山にある「立花建設株式会社」は、建設現場で女性が働きやすい環境を整え、女性活躍を推進している企業として、「令和元年度 東京都女性推進大賞 優秀賞」を受賞されました。企業での女性活躍推進について、立花建設総務部の大塚さんにお話を伺いました。

女性活躍を推進するきっかけの一人

2014年4月に専門学校卒業の二十歳の女性が入社しました。それ以前、女性の施工管理者は中途採用の一人だけでしたから、女性の労働環境はほとんど整っていませんでした。予想される労働力不足に対応するためにも、若手、特に女性を採用して、活躍の場を増やすことが必要な状況でした。

女性の労働環境が整っていない状況で、彼女は気が付いたことなど、要望をきちんと伝えてくれました。また、ベテランの男性施工管理者にとって、「娘」のような年齢だったため、コミュニケーションもスムーズだったようです。女性社員の労働環境を整備する面で男性社員はとて協力的だと感じました。

今では新卒者採用に向けた学校説明会に彼女が出向き、後輩たちに建設現場で働く楽しさを生き生きと伝えてくれています。



現場の和やかな雰囲気

協力会社、下請け業者でも女性社員、職人が増えてきました。男性だけの現場でミスが発生すると、かなり緊張した状況になることがありますが、女性がいると問題が穏便に収束されることが少なくないようです。

官公庁の職員の方々と会議をする機会が多くあります。そのような時、女性の施工管理者の気配り、柔らかい話し方により、和やかな雰囲気の中で、建設的な話し合いができていると感じています。

ワーク・ライフ・バランスの推進

○出産、育児休暇後の復帰サポート

女性の場合、妊娠と出産を機に離職することが予想されます。12名の女性社員のうち2名は育児休暇後、完全に現場復帰しました。現在、1名が育児休暇中です。

弊社では、職場復帰への不安を払拭するサポートをしています。例えば、就業時間を8時から17時までとする時短就労制度を設けています。また、水曜日は「ノー残業デー」です。突然、家族に緊急事態が生じても、他の施工管理者がバックアップできる体制も敷いています。施工管理の業務は多岐に渡るため、実務経験はとて貴重です。出産で離職せず、戻ってきてほしいと心から願っています。

労働環境改善につながった事例

○現場環境の整理整頓

工程通りに工事を進め多忙な日が続くと、徐々に事務所や現場の環境が乱雑になる傾向があります。ちょっとした事に気が付く女性の目線は、環境の乱れ、臭いにも敏感です。整えられた気持ちの良い環境を維持する上で貴重な貢献をしています。

○作業服

弊社の作業服は、冬物、夏物がありましたが、女性も着用するという視点で選ばれていなかったため、女性は夏でも冬物を着用していました。作業服のデザイン・素材を見直す時期に、女性社員の意見を取り入れ、女性が安心して着用できる夏用の作業服に変更しました。

○日焼け止めクリーム

施工管理者の業務のほとんどは屋外なので日焼けは深刻です。特に女性にとって紫外線から皮膚を守るため、日焼け止めクリームは不可欠です。この購入費用を経費扱いにできないか相談を受け、結果的に承認されました。もちろん男性社員でも承認されます。



○スキルアップのバックアップ

男女を問わず、資格取得に要する費用（講習会参加費用、受験料）、スキルアップのため参加する研修会の参加費用を会社が負担しています。中途採用の女性は、この制度を活用して施工管理者の資格を取得し、活躍しています。

○有休の取得促進

建設業界全般的に言えることだと思いますが、弊社でも有休取得利用の促進が課題です。男性社員の有休利用率は半分程度、女性で7割です。一つの現場が始まると、長期間現場を離れることができません。そこで「リフレッシュ休暇」制度を設けています。現場が終わったら、1～2週間の長期休暇が取れるシステムです。例えば旅行で心と体をリフレッシュし、次の現場に就くということが可能です。

変化へのしなやかな対応を目指して

コロナ禍により、弊社も危機的な状況を経験しており、変化への対応が必要です。建設業界の中では中小企業ですから、大企業と比較すると、女性の採用、労働環境を整える面ではまだまだです。しかし、諦めたら今後の変化に対応できなくなります。会社にも社員にもメリットのある柔軟な発想、変化へのしなやかな対応に、女性社員の知見、経験はとて貴重です。いわば会社の財産、資産です。ですから「建設業でリモートワークは無理」と予断せず、何ができるかを考え続けています。加えて、現在のところ女性社員を対象にしている育児休暇を男性社員に拡大することや、時間外労働の削減に向けた取り組みも進めています。さらに多くの女性社員が活躍できる場を提供できれば嬉しいです。

